

科 目 名				学年
経済学Ⅱ : EconomicsⅡ				4B
教 員 名 岸川 善紀 : KISHIKAWA Yoshinori				
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	必修	講義・後期	○
授業概要	本講義ではマクロ経済学について解説する。国民経済計算などの諸概念についてマクロ経済モデルをベースに説明する。IS-LM分析より財市場、貨幣市場の均衡について説明し、労働市場を加えた総需要-総供給分析について説明する。マクロ経済的な課題を解決するために、財政政策や金融政策における制約条件を特定する能力を涵養する。			
	到達目標		評価方法	配分
(1)国民経済計算、GDPなどの構造を説明できる		中間試験で評価	35%	
(2)財、貨幣、労働市場の均衡条件が理解できる		期末試験で評価	35%	
(3)財政政策や金融政策について説明でき、マクロ経済の均衡における制約条件が理解できる		課題、レポートで評価	30%	
学習・教育目標		(C)①	JABEE基準1(2)	(e)
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	ガイダンス	講義全体の解説とマクロ経済学の視座について説明する	
	第2	国民経済計算とGDP(1)	国民経済計算、GDPなどについて説明する	
	第3	国民経済計算とGDP(2)	三面等価の原則、国民所得などGDPに関連する諸概念を説明する	
	第4	財市場の分析(1)	消費関数・貯蓄関数や、均衡国民所得の決定について説明する	
	第5	財市場の分析(2)	IS曲線の導出について説明する	
	第6	消費関数と投資関数	消費関数、投資関数について説明する	
	第7	中間まとめ	ここまでのまとめとして中間試験を実施する。	
	第8	貨幣市場の分析(1)	貨幣市場について説明する	
	第9	貨幣市場の分析(2)	LM曲線の導出について説明する	
	第10	IS-LM分析(1)	IS-LM分析について説明する	
	第11	IS-LM分析(2)	財政・金融政策とその効果について説明する	
	第12	AD-AS分析(1)	総需要曲線、総供給曲線について説明する	
	第13	AD-AS分析(2)	AD-AS分析について説明する	
	第14	国際収支と開放経済	開放経済における国民所得、国際収支について説明する	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容		演習課題、レポートを課す		
関連科目				
教科書		飯田幸裕、岩田幸訓「入門経済学」創生社		
参考書				
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。		
副担当教員				
備考				